

科目名	二級建築士計画（必修）	単位数	5
対象学科・履修学年	建築士専攻科	学期	前期
授業の目的・目標	<p>建築計画の基礎的な理解と技術的知識の修得を目的とする。          建築は、人間の生活、行動、意識と空間との対応関係等を基にして計画されるため、計画理念、居住環境、環境行動などの建築計画の基礎理論と建築種別・施設別の建築施設の計画手法を理解することを目標とする。</p>		
授業の概要	<p>基礎理論および建築施設計画の各論を講義する。基礎理論では、建築計画の概念や建築規模、機能、動線、空間のスケール、空間構成、造形、構法、材料の選定など、人間工学的な見地も踏まえ、建築物の各部を計画する際の理論を講義する。建築施設計画では、住宅・集合住宅・商業施設・事務所建築・公共施設など代表的な用途別建築物の計画プロセスと手法を理論的に講義する。</p>		
その他 (教科書・教材等)	<p>専門士課程 建築計画〈第二版〉(学芸出版社)</p>		
授業内容・授業計画			
<p>《前期》</p> <p>第 1回 室内環境・換気・伝熱・結露          第 2回 日照・日射・採光・色彩・音響          第 3回 建築設備と環境・空気調和設備・給排水衛生設備          第 4回 照明設置・電気・輸送設備・消化・防災設備          第 5回 住宅建築・商業建築・公共建築・都市計画・建築史</p>			
<p>《後期》</p>			

科目名	二級建築士法規（必修）	単位数	8
対象学科・履修学年	建築士専攻科	学期	前期
授業の目的・目標	建築設計・施工に必要な建築基準法などの法律全般について学ぶ。目標として将来、建築の設計者や工事管理を行う技術者として必要な建築関連法規の知識を習得させる。		
授業の概要	建築基準法・建築基準法施行令・都市計画法を学ぶ。特に、建築基準法については、建築物法規の概念、総括規定、集団規定、単体規定、制限規定など詳細に学ぶ。		
その他 (教科書・教材等)	建築関係法令集		
授業内容・授業計画			
<p>《前期》</p> <p>第 1回 建築士法・建設業法  第 2回 建築基準法・建築手続き  第 3回 防火・避難関係・避難関係規定  第 4回 一般構造規定・建築設備  第 5回 構造強度・都市計画区域等における制限①  第 6回 都市計画区域等における制限 ②  第 7回 都市計画区域等における制限 ③・建築協定・雑則・罰則  第 8回 都市計画法・消防法等の関係法令</p>			
<p>《後期》</p>			

科目名	二級建築士施工（必修）	単位数	5
対象学科・履修学年	建築士専攻科	学期	前期
授業の目的・目標	建築工事における各種施工方法と施工管理について全般的な施工技術を習得する。		
授業の概要	施工計画、工程計画、仮設計画など、施工管理と工程管理について学ぶと共に、コンクリート工事、鉄筋工事、内装工事等の各種工事の仕様・要領などについても学習する。また、木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造など構造別の施工法についても理解し、総合的な施工技術を習得する。		
その他 (教科書・教材等)	専門士課程 建築施工〈第二版〉（学芸出版社） プリント		
授業内容・授業計画			
<p>《前期》</p> <p>第 1 回 施工計画・工事現場管理・地盤調査・測量・仮設工事</p> <p>第 2 回 土工事・基礎地業工事・鉄筋工事</p> <p>第 3 回 型枠工事・コンクリート工事・鉄骨工事</p> <p>第 4 回 木工事・防水・シーリング・屋根工事</p> <p>第 5 回 左官・タイル・張り石工事・建具・ガラス工事、内装・断熱・塗装・吹付工事、積算 等</p>			
<p>《後期》</p>			

科目名	二級建築士(必修)	単位数	3
対象学科・履修学年	建築士専攻科	学期	前期
授業の目的・目標	<p>「力のつりあい」を基本とした静定ラーメンを学んだ後、実際の建築物の骨組はほとんど不静定構造物であるので、その応力の求め方について学んでいく。</p> <p>5</p>		
授業の概要	<p>構造力学 I に引き続き、トラスの応力、断面一次、断面二次モーメント、座屈やたわみについて学び、力のつりあい条件だけでなく、部材の変形などを考慮した不静定構造物の解き方について学ぶ。</p>		
その他 (教科書・教材等)	<p>図説 やさしい構造力学 (学芸出版社) 電卓</p>		
授業内容・授業計画			
<p>《前期》</p> <p>第 1回 建築物に働く力 第 2回 静定構造物の応力 第 3回 部材の性質と応力度</p>			
<p>《後期》</p>			

科目名	二級建築士構造（必修）	単位数	5
対象学科・履修学年	建築士専攻科	学期	前期
授業の目的・目標	建築物の構造とはどういうものなのか。建築の各種構法や仕組みについて理解する。		
授業の概要	建築設計の基礎的知識である構法の構造原理や構造形式、構造材料などについて学び、鉄骨構造・鉄骨鉄筋コンクリート構造・補強コンクリートブロック構造・プレストレストコンクリート構造などの各種構法の特性和適用について総合的に理解する。		
その他 (教科書・教材等)	基礎シリーズ 最新建築構造入門（実教出版）		
授業内容・授業計画			
《前期》 第 1回 座屈・構造設計 第 2回 鉄筋コンクリート構造 第 3回 鉄骨構造・鉄骨鉄筋コンクリート構造 第 4回 補強コンクリートブロック構造等 第 5回 地盤と基礎構造・建築材料			
《後期》			

科目名	二級建築士製図演習Ⅱ(必修)	単位数	16
対象学科・履修学年	建築士専攻科	学期	後期
授業の目的・目標	建築設計の基礎となる製図を行い、図面表現技法の基本を習得すると共に、設計製図のプランニング知識と表現方法を習得する。		
授業の概要	木構造・鉄筋コンクリート構造毎に、実際に住宅の設計を行い、設計製図の基本技術を学ぶと共に、木造と鉄筋コンクリート構造の2階建て住宅等の設計課題により、設計の基礎知識・設計手法・表現技法を習得する。		
その他 (教科書・教材等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定番 建築製図入門 (彰国社)</li> <li>・ 製図道具</li> <li>・ 2級建築士試験設計製図テキスト (総合資格学院)</li> </ul>		
授業内容・授業計画			
《前期》			
《後期》			
第 1回 住宅の自由設計課題 第 2回 住宅の自由設計課題 第 3回 住宅の自由設計課題 第 4回 住宅の自由設計課題 第 5回 住宅の自由設計課題			

科目名	二級建築士学科演習（必修）	単位数	14
対象学科・履修学年	建築士専攻科	学期	前期
授業の目的・目標	2級建築士学科試験の合格を目的とする。		
授業の概要	計画、構造、施工、力学、法規の各項目ごとによる説明を行い練習問題と過去問をくり返し習得させる。		
その他 (教科書・教材等)	T A C ・ 2 級建築士学科新体系問題集（実教出版）		
授業内容・授業計画			
<p>《前期》</p> <p>第 1 回 計画原論・模擬テスト</p> <p>第 2 回 計画原論・模擬テスト</p> <p>第 3 回 計画原論・模擬テスト</p> <p>第 4 回 構造力学・模擬テスト</p> <p>第 5 回 一般構造・模擬テスト</p> <p>第 6 回 一般構造・模擬テスト</p> <p>第 7 回 建築材料・模擬テスト</p> <p>第 8 回 建築材料・模擬テスト</p> <p>第 9 回 建築材料・模擬テスト</p> <p>第 10 回 躯体・模擬テスト</p> <p>第 11 回 躯体・模擬テスト</p> <p>第 12 回 仕上げ・模擬テスト</p> <p>第 13 回 仕上げ・模擬テスト</p> <p>第 14 回 仕上げ・模擬テスト</p>			
<p>《後期》</p>			

科目名	二級建築士製図演 I (必修)	単位数	13
対象学科・履修学年	建築士専攻科	学期	後期
授業の目的・目標	建築設計の基礎となる製図を行い、図面表現技法の基本を習得すると共に、設計製図の基礎知識と表現方法を習得する。		
授業の概要	実際の建築設計図（木造）の写図を行い、設計製図の基本技術を学ぶと共に、木造の2階建て住宅等の設計課題により、設計の基礎知識・設計手法・表現技法を習得する。（年度によっては、木造→R C造となる）		
その他 (教科書・教材等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定番 建築製図入門 (彰国社)</li> <li>・ 製図道具</li> <li>・ 設計製図試験課題対策集 (日建学院教材研究会)</li> </ul>		
授業内容・授業計画			
《前期》			
《後期》			
第 1 回	設計製図の基本演習及び写図		
第 2 回	木造住宅の製図 (配置図)		
第 3 回	木造住宅の製図 (平面図)		
第 4 回	木造住宅の製図 (立面図)		